

なぜ日本は女子の工学部進学が 少ないのか？

生徒や保護者、研究者の アンコンシャスバイアスに関する最近の研究

工学部の女子学生比率の全国平均は 16.7%(2024, MEXT)、理学部 28.3%(同)よりも低水準、OECD 諸国中で最低水準です（本学は工学部 17.8%、理学部 32.7%(2025)）。18 歳人口が減少している現在、理工系学部における女子生徒の確保は喫緊の課題です。

日 時

令和8年1月19日(月)
13:00~14:30

場 所

姫路工学キャンパス
A 棟 4 階中会議室

対象者

兵庫県立大学
全教員、全職員

オンライン同時配信

<https://teams.microsoft.com/meet/49569766765106?p=2VZ1ZvXGXela4OIdta>

なぜ女子学生の工学系進学割合が低いのか？
女性は、本当に理系分野が苦手なのか？
これらの疑問を、最近の研究事例を示しながら、
アンコンシャス・バイアス（無意識のバイアス）
の観点から紐解いていきます。

広報活動、高大連携、学生指導や若手指導、保護者対応の心構えとして。

講 師

兵庫県立大学姫路工学キャンパス
材料・放射光工学専攻
ダイバーシティ推進担当
三浦 永理 准教授



事前申し込み不要・問い合わせはこちら

問合せ先：兵庫県立大学姫路工学キャンパス

ダイバーシティ推進室姫路工学キャンパス分室 相河、三浦、藤田

メール：hitomi_fujita@ofc.u-hyogo.ac.jp

TEL：079-266-1661（内線 8804）

主催：兵庫県立大学ダイバーシティ姫路工学キャンパス分室



兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO